

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院内分泌代謝科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身やご家族等がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分や家族等の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2012年1月1日 ～ 2024年3月31日の間に、膵臓の手術のために虎の門病院消化器外科に入院・通院し、膵臓の手術を受けられた方

【研究課題名】

膵疾患に対する膵切除術後の新規糖尿病発症に関連する因子、発症時期および治療実態に関する後方視的コホート研究

【研究の目的・背景】

《目的》

膵臓の手術を受けた患者さんのうち、糖尿病を新たに発症した方と発症しなかった方の情報を比較し、糖尿病の発症の頻度、時期、関係する要因、および治療内容などを明らかにすることを目的としています。これにより、どのような患者さんが糖尿病を発症しやすいのか、いつ頃発症しやすいのか、さらにどのような治療が適しているのかを把握し、将来、手術後の患者さんへのより良い予防や治療の方法を考えるための参考になることが期待されます。

《研究に至る背景》

膵臓の病気に対しては、治療の一環として手術が行われることがありますが、手術後に新たに糖尿病を発症する方が一定の割合で見られます。このような糖尿病が、どのような患者さんに起こりやすいのか、いつ頃発症し、どのような治療が適切なのかについては、まだ詳しくわかっていません。

【研究期間】

2025年6月20日 ～ 2027年3月31日

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院 内分泌代謝科 糖尿病・代謝部門 部長 森 保道において研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【診療情報を虎の門病院外へ提供する場合】

虎の門病院外への診療情報提供は予定しておりません。

【利用する診療情報】

検査データ、診療記録、CT データ、薬歴、看護記録など

【虎の門病院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：内分泌代謝科 糖尿病・代謝部門 部長 森 保道

研究機関の長：院長 門脇 孝

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族等の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族等の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2026 年 3 月 31 日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 内分泌代謝科 糖尿病・代謝部門 部長 森 保道

電話 03-3588-1111(代表)